

事業概要

ブロック内における主体的な実践に基づく研修のためのネットワーク化の推進と、園内研修の企画・立案・運営を行うミドルリーダーを育成するために、県内13ブロックにおける「ブロック別研修会」を開催する。

期待される効果

ブロック内における主体的な園内研修体制が構築され、組織的・計画的な教育・保育に取り組むことにより、教育・保育の質の向上を図ることができる。

現状・課題

教育・保育の質の向上を図っていくためには、保育者の資質・指導力の向上が重要である。しかし、保育現場では、代替保育士の確保が困難な状況等から園を離れての研修は難しい現状がある。

こうしたことから、園主体の組織的・計画的な研修体制の確立が必要となるが、職員の勤務体制や制度の違いから、研修体制が十分に確立されているとは言い難い。そのため、各地域で、園の教育・保育課題に基づいた実践を日常的・継続的に行う仕組みを構築する必要がある。

事業目標

研修の中核となる職員が育ち、園内及び園や市町村を超えた実践研修や公開保育が定期的に行われるようになる。

| | |
|-----------------------|-------|
| 【目標数値】13ブロックでの公開保育の実施 | 13園 |
| 市町村単位の参加率 | 100% |
| ミドルリーダーの参加率 | 100% |
| 1年目園 回答「質向上につながった」 | 80%以上 |
| 2年目園の園内研修実施率 | 100% |

実施内容

幼保支援課による継続支援

- ・園内研修支援(研修の工夫、要領・指針や質向上ガイドラインの活用、保幼小連携・接続や親育ち支援の促進等)
- ・各市町村との連携・研修会当日の運営支援等

【R3年度】

①1年目園(13ブロック・13園)

組織的・計画的な園内研修の実施

- ・研修目標及び年間計画の作成
- ・研修計画に基づく実践(年間7回程度)
- ・公開保育(10月～12月)
 - ・各地域の保育者等の参加
 - ・ミドル1・2年次受講者によるグループ協議の記録・進行
- ・実践報告の作成(研修の反省と評価)
- ・次年度の計画等

ブロック内の保育所・幼稚園等

- ・公開保育における研究協議への積極的な参加
- ・ブロック内のミドルリーダーによる公開保育グループ協議の運営

②2年目園(13ブロック・13園)

組織的・計画的な園内研修の継続

- ・研修目標及び年間計画の作成
- ・研修計画に基づく実践(年間3回程度)
- ・研修の反省と評価等

3年目以降～

各地域における自主的・主体的な園内研修の実施

【R3年度末】

令和4年度実施園の決定(R3年12月)

市町村における実施園の決定(13ブロック・13園)

13ブロック交流会(R4年2月19日)

■対象・内容

①1年目予定園

- ・ブロック別研修の趣旨、内容等の理解、質疑

②2年目予定園

- ・R3年度実践報告と交流
- ・ブロック別研修の成果・課題の情報提供